授業科目名・形態	成人・老年看護学実習Ⅱ　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	飛澤　貴子・千葉　孝子・三浦　京子	実務経験の有無	有	開講期	３年前期・後期
科目ナンバリング	N5-3015npmht				

【授業の主題】

周手術期およびリハビリテーション期にある成人期・老年期の対象とその家族を総合的に理解し、根拠に基づいた看護の実践方法を学ぶ。また、疾病のコントロールやリハビリテーションを必要とする対象のセルフケア能力に合わせ、健康問題解決のための支援を学び、看護の基本的な知識、技術、態度を修得する。

【到達目標】

1. 急性期および周手術期により生命危機状況にある患者の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。
2. 急性期および周手術期にある患者と家族の心理状態を理解した看護援助、医療チームの一員としての看護師の役割を学ぶ。
3. 手術中の患者の安全・安楽を配慮した手術室看護師の役割や手術チームの協力体制を学ぶ。
4. 看護過程の展開により、急性期、周手術期、リハビリテーション期における患者に個別的な援助ができる。

【授業計画・内容】

（詳細は成人老年看護学実習Ⅱの実習要項を参照）
実習場所：大館市立総合病院、秋田労災病院

【授業実施方法】

臨地実習

【事前・事後学習】

1. 実習前（2 年次春季休業中）に提示された事前学習課題に取り組んでください。
2. 既習の人体の構造と機能、病態治療学、看護技術について復習してください。

【主な関連する科目】

人体の構造と機能、臨床薬理学、病態治療学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護過程論、成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習Ⅰ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

ナーシング・グラフィカ 成人看護学④周術期看護,株式会社メディカ出版,2024.（成人看護方法論Ⅲの指定教科書）
看護学テキストNICE 成人看護学 成人看護技術 改定第３版,南江堂,2023.（成人看護方法論Ⅰの指定教科書）

【参考文献】

おもな関連する科目で使用した教科書と授業資料、実習中に必要時、資料を配布します。
図書館の蔵書を中心に必要な資料を参考にしてください。

【成績評価方法】

実習記録（50%）、実習状況や実習態度およびカンファレンス参加態度（50%）等により総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

専門医療施設において，急性期および周手術期，回復期での臨床経験を積み，周手術期や急性期での健康障害による生活障害と健康障害が患者と家族に与える精神的負担に対する看護援助を提供してきました。

【学生へのメッセージ】

急性期および周手術期にある患者は、生命の危機状態にあり、急激な病状変化が生じるため、観察や看護援助には特に正確な知識と技術が必要になります。また、回復に向け早期離床や早期からのリハビリテーションが必要となります。そのためにも、事前学習に取り組み、心理的支援も含めた看護師の担う役割について学ぶ機会としてください。
実習中の疑問を残さないためにも、教員や実習指導者に相談してください。